

2025年3月期 決算説明資料



松田産業株式会社
2025年5月26日



Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.



本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を負うものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

<お問い合わせ先>

松田産業株式会社
CSR・IR部

お問い合わせフォーム : <https://www.matsuda-sangyo.co.jp/ja/contact/contact4.html>

1. 連結決算の概要
2. 中期経営計画（2022-2025年度）の進捗状況
3. セグメント別の業績と次期見通し

Appendix

1. 連結決算の概要



2025年3月期決算説明のポイント

連結売上高は過去最高
初の4,000億円突破
4,688 億円 / **126** 億円

(前期比 +30.0% / +35.5%)

貴金属関連事業
売上高/営業利益
3,616 億円 / **101** 億円

(前期比 +43.0% / +44.5%)

食品関連事業
売上高/営業利益
1,072 億円 / **25** 億円

(前期比 ▲0.4% / +8.0%)

ROE/ROA (総資産経常利益率)
9.9 % / **8.5** %

(前期比 +1.6pt / +0.9pt)

1株当たり配当金 (26/3期予想)

8期連続増配

90 円 (+15円)

貴金属関連事業として
(株)山陽レック並びに(株)フラップリソース
の全株式を取得

産業廃棄物の中間処理及び
再資源化機能の拡大

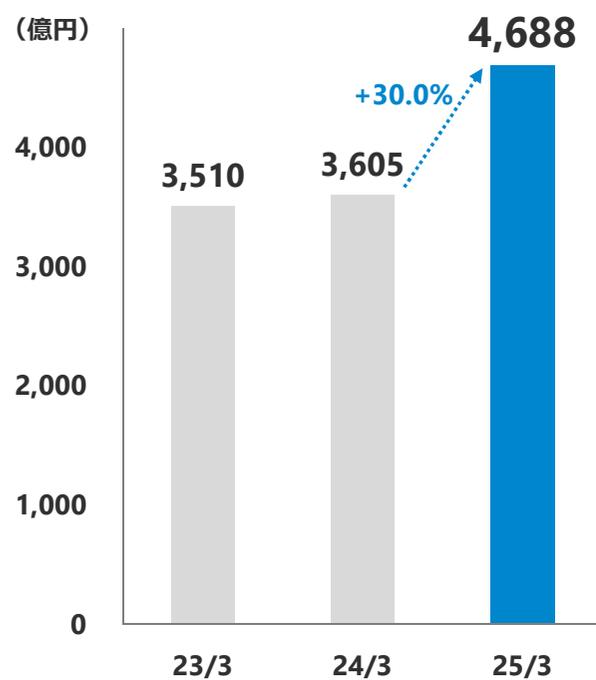
貴金属関連事業における増収増益、食品関連事業における増益を受け、前期比で増収増益

(億円)

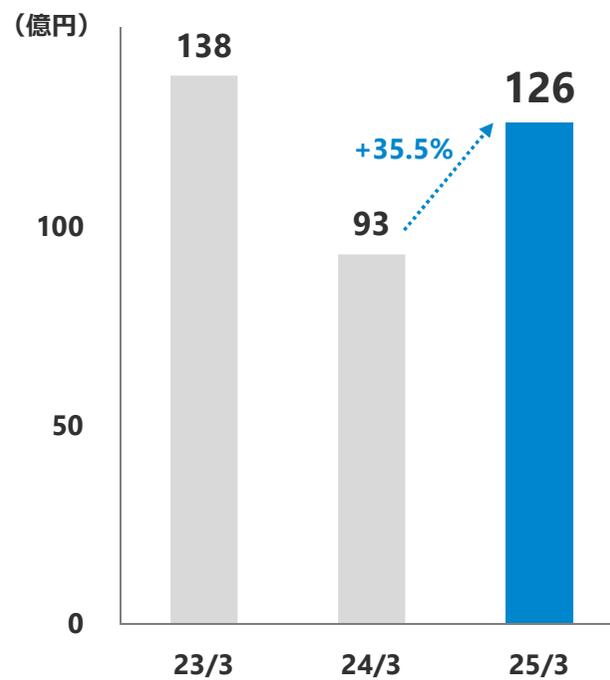
	2024年3月期	2025年3月期	増減	
売上高	3,605	4,688	+1,083	+30.0%
営業利益	93	126	+33	+35.5%
営業利益率	2.6%	2.7%	+0.1pt	-
経常利益	105	135	+29	+28.2%
当期純利益	72	94	+21	+29.8%
1株当たり当期純利益 (円)	280.2	364.8	+84.6	+30.2%
ROE	8.3%	9.9%	+1.6pt	-

連結業績の推移

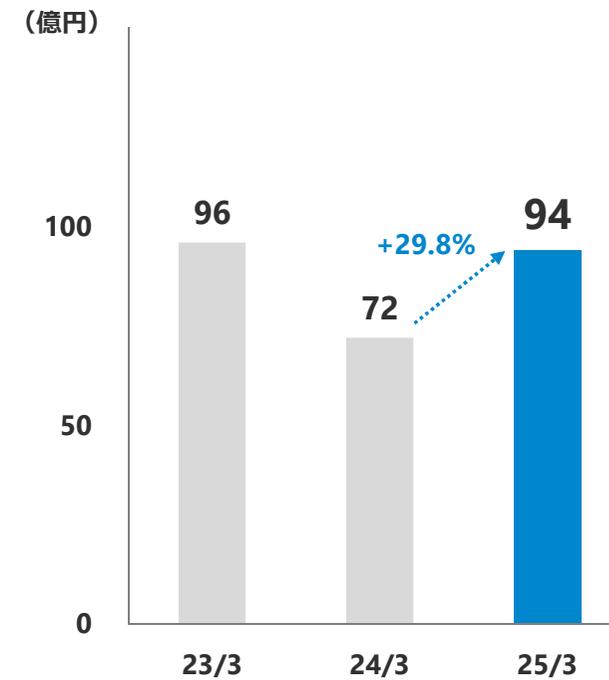
売上高



営業利益



当期純利益



連結貸借対照表

【資産の部】		(億円)		
	2024年3月末	2025年3月末	増減	増減要因
流動資産	1,023	1,161	+138	(+) 棚卸資産の増加
固定資産	466	527	+61	(+) 生産設備の強化、子会社株式の取得
資産合計	1,489	1,689	+199	
【負債の部】				
	2024年3月末	2025年3月末	増減	増減要因
流動負債	445	486	+40	(+) 買掛金、未払法人税等の増加
固定負債	130	201	+71	(+) 設備投資を目的とする長期借入金の増加
うち有利子負債	294	333	+39	
負債合計	575	687	+112	
【純資産の部】				
	2024年3月末	2025年3月末	増減	増減要因
純資産合計	913	1,001	+87	(+) 利益剰余金の増加
負債純資産合計	1,489	1,689	+199	
自己資本比率	61.2%	59.1%		

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減	増減要因
営業キャッシュ・フロー	18	25	+7	(+) 税金等調整前当期純利益、仕入債務の増加 (-) 棚卸資産増加、法人税等の支払い
投資キャッシュ・フロー	▲79	▲62	+17	(-) 有形固定資産の取得、子会社株式の取得
フリー・キャッシュ・フロー	▲61	▲37	+24	
財務キャッシュ・フロー	80	2	▲78	(+) 長期借入金の増加 (-) 短期借入金の返済、配当金の支払い
現金及び現金同等物の増減	26	▲30	▲57	
現金及び現金同等物の期末残高	144	114	▲30	

2. 中期経営計画（2022-2025年度）の進捗状況



経営目標の達成に向けては、貴金属セグメントの量的拡大、利益率・資本効率の改善が課題

(億円)

	FY16-18 平均	FY19-21 平均	FY22 実績	FY23 実績	FY24 実績	FY25 予想	FY25 (中期目標)
売上高	1,871	2,382	3,510	3,605	4,688	4,900	3,000
営業利益	42	90	138	93	126	135	130
営業利益率	2.2%	3.7%	3.9%	2.6%	2.7%	2.8%	4.3%
ROE	5.6%	10.0%	12.2%	8.3%	9.9%	-	9.0%
ROA (総資産経常利益率)	6.0%	9.4%	11.3%	7.6%	8.5%	-	10.0%

基本方針

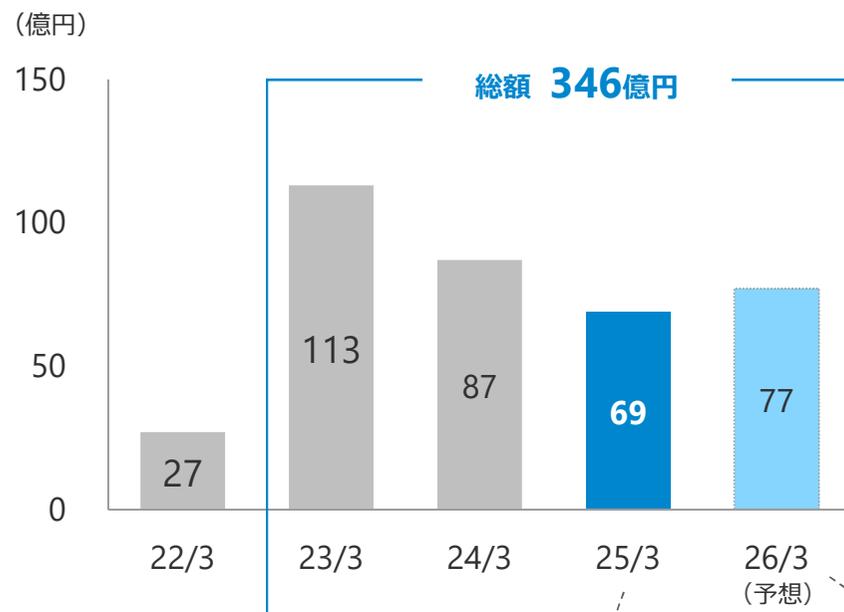
貴金属関連事業 & 食品関連事業の両事業を成長の牽引役とし…

- 積極投資の継続で**収益基盤強化**と**新規収益源の創出**
- 持続的成長を支え、加速させる**経営基盤の強化**
- **サステナビリティ経営**の推進で**企業価値向上**

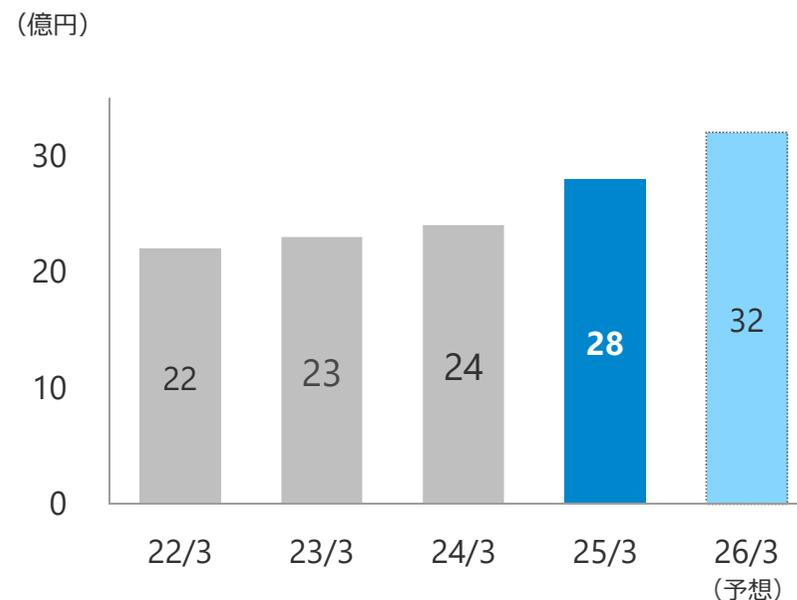
成長戦略（ロードマップ）

		2024年度～2025年度（予定）		
貴金属関連事業 資源循環(活用)を創造するリーディングカンパニー	高付加価値商品／サービスの開発・技術構築	ECO PGC		
	新規事業展開に向けた製錬環境処理設備/拠点の拡充	PTPマテリアルリサイクル		
	事業規模・領域拡大に向けた生産インフラの拡充	二次電池リサイクル事業		
		北九州工場第1期稼働		
		入間地区リニューアル		
食品関連事業 お客様の商品開発のベストパートナー	グローバル展開と調達ネットワークの拡充	PT Matsuda Sangyo Trading Indonesia（インドネシア拠点）の稼働		
	顧客密着営業と新規事業/商圏の創出	サプライチェーン機能構築・強化		
経営基盤強化	IT活用による管理機能強化と生産性向上	ERP刷新		
		DX推進（デジタルの民主化）		
	人的資本経営の推進	経営人財の創出		
		多様な人財が活躍できる職場づくり		
資本効率向上に向けた取組み	事業ポートフォリオマネジメントの強化			
サステナビリティ経営の推進	脱炭素に向けた取組み			
	労働環境の整備（RBA）			

事業投資額の推移



減価償却費の推移



【25/3期 事業投資（実績）】

- ・ 入間地区工場機能拡充 23億円
- ・ 製錬環境処理設備・拠点拡充等 14億円
- ・ タイ工場拡充、子会社株式取得、IT投資 32億円

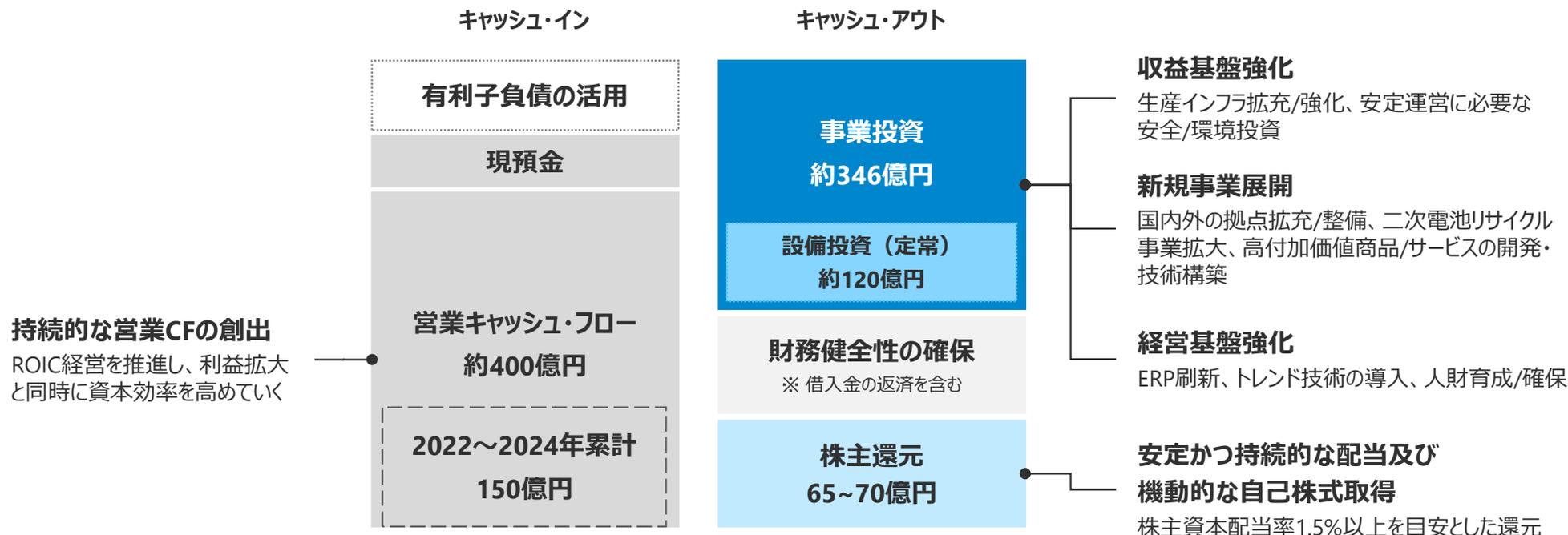
【26/3期 事業投資（予想）】

- ・ 入間地区工場機能拡充 38億円
- ・ 製錬環境処理設備・拠点拡充等 32億円
- ・ IT投資 7億円

資本政策

- 成長性を捉えた事業機会への最適資源配分、財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮し、持続的に企業価値を向上させる

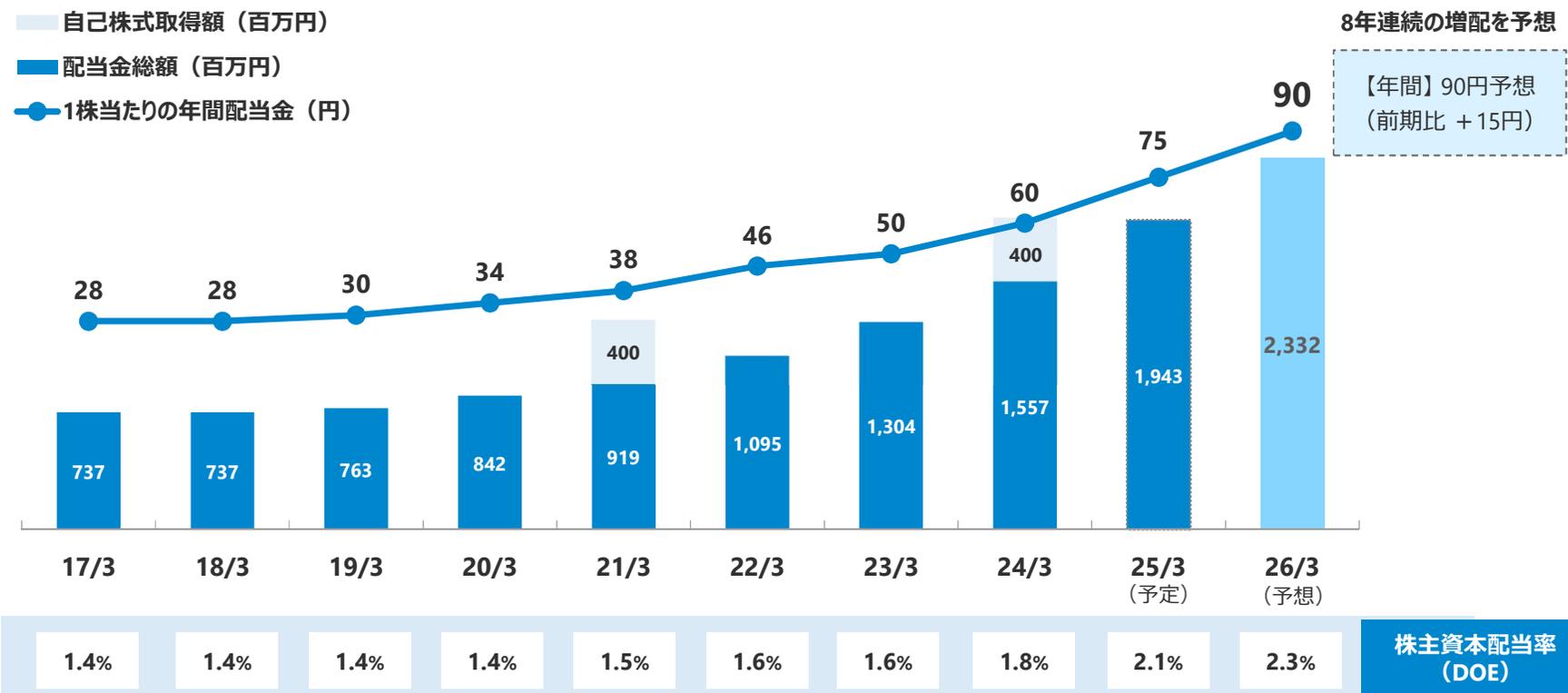
＜中期経営計画（2022～2025年度累計）に基づく、キャッシュ・アロケーションの想定＞



株主還元

株主還元

- 成長投資の為の内部留保とのバランスを考慮しつつ、安定且つ持続的な配当を実施
- 株主資本配当率1.5%以上を目安とした還元
- 市場環境を勘案した機動的な自己株式取得



当社グループの存在意義を果たしていくため特定したマテリアリティへの取組みを2024年度も推進



マテリアリティ（重要課題）

環境負荷低減と事業成長の両立

- ① エネルギー消費及び温室効果ガスの排出
- ② 大気への排出 ③ 有害物質 ④ 固形廃棄物
- ⑤ 汚染防止と資源削減 ⑥ 水の管理
- ⑦ 生物多様性



2024年度取組み実績

- GHG排出量に関する第三者保証の取得
- GHG削減施策の推進
 - ① 生産部門の100%再生可能エネルギーの購入と将来の再エネ調達計画の検討開始
 - ② 燃焼設備の電化の検討
 - ③ 営業車両のHV化・PHEV化・EV化推進
 - ④ モーダルシフト（北九州での内航船利用開始）
 - ⑤ 工程改善によるエネルギー使用量削減
- インターナルカーボンプライシング制度の設定価格と対象範囲のレビュー実施
- 国際イニシアチブへの取組み推進
CDP2024「気候変動」調査で最高評価の「Aリスト」に選定



多様な人財活躍による成長加速

- ① 適材適所 ② ダイバーシティ&イノベーション
- ③ ワークライフバランス

お客様満足の向上と社会の信用確保

- ① 製品/サービスの正確な情報の提供
- ② 商品の安心・安全の確保
- ③ サプライヤーとのパートナーシップ



- 定期的な従業員エンゲージメント調査の実施と、調査に基づく課題の設定
- 海外ナショナルスタッフ育成施策、ダイバーシティ&イノベーションプログラムの実施
- 年代別キャリア開発支援の継続的な実行
- 出産/育児/介護と仕事の両立支援制度の拡充
- 国内でのRBA遵守体制整備完了
- ISO14001/9001マネジメントプログラムの実施
- サプライヤーエンゲージメントの実施
- タイ国水産物サプライヤーの人権DD実施

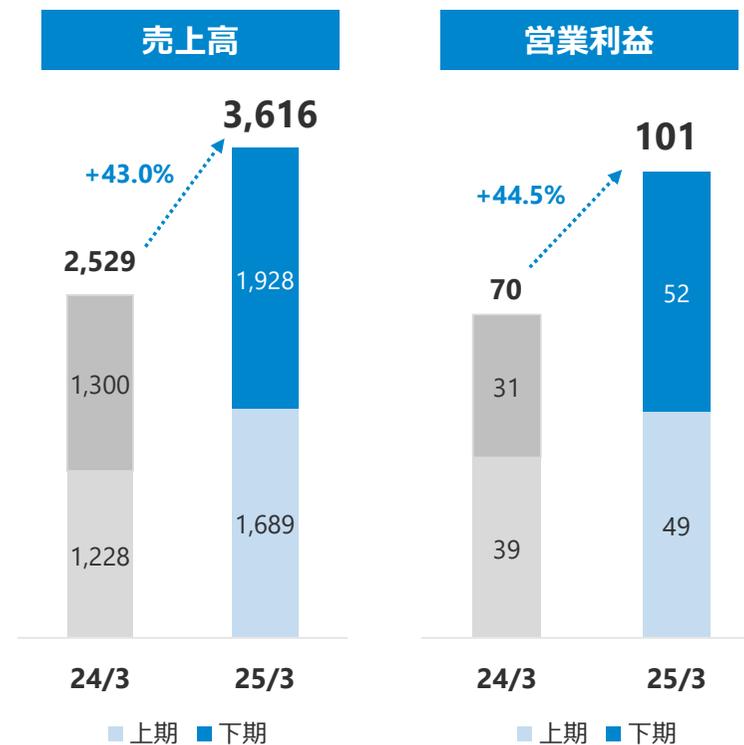
3. セグメント別の業績と次期見通し



セグメント別の業績（貴金属関連事業）

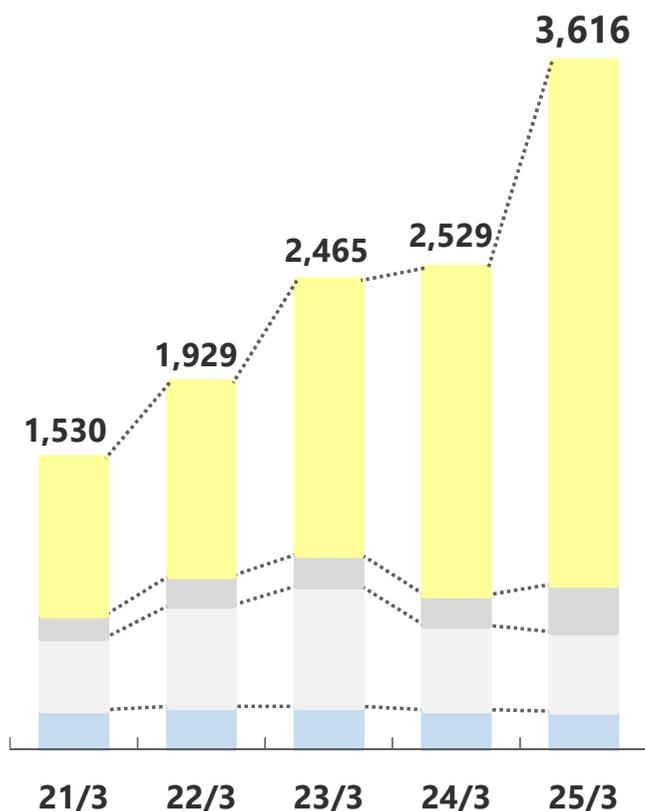
貴金属リサイクル取扱量の増加及び金相場の堅調な推移により、増収増益を達成

	(億円)			
	2024年3月期	2025年3月期	増減	
売上高	2,529	3,616	+1,087	+43.0%
営業利益	70	101	+31	+44.5%
営業利益率	2.8%	2.8%	-	-



品目別売上高の推移（貴金属関連事業）

金価格の上昇や宝飾分野からの貴金属リサイクル取扱量の増加によって金製品が大きく増収し、
全体の売上高は前期比+1,087億円

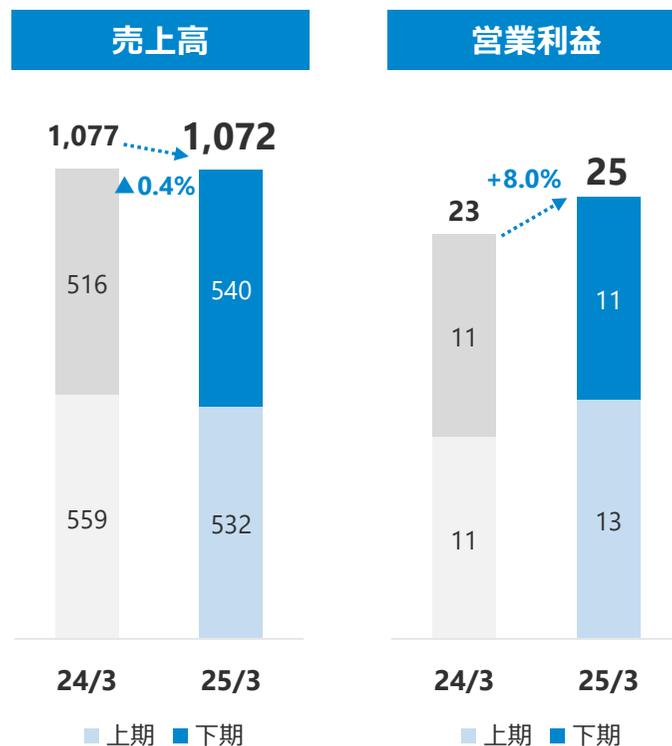


	(億円)			増減要因
	25/3期	増減		
金	2,748	+1,031	+60.1%	数量要因+16.4%、価格要因+43.6%
銀	250	+88	+54.8%	数量要因+13.6%、価格要因+41.2%
白金族	417	▲25	▲5.8%	数量要因▲1.3%、価格要因▲4.5%
その他	200	▲6	▲3.4%	産業廃棄物処理等

セグメント別の業績（食品関連事業）

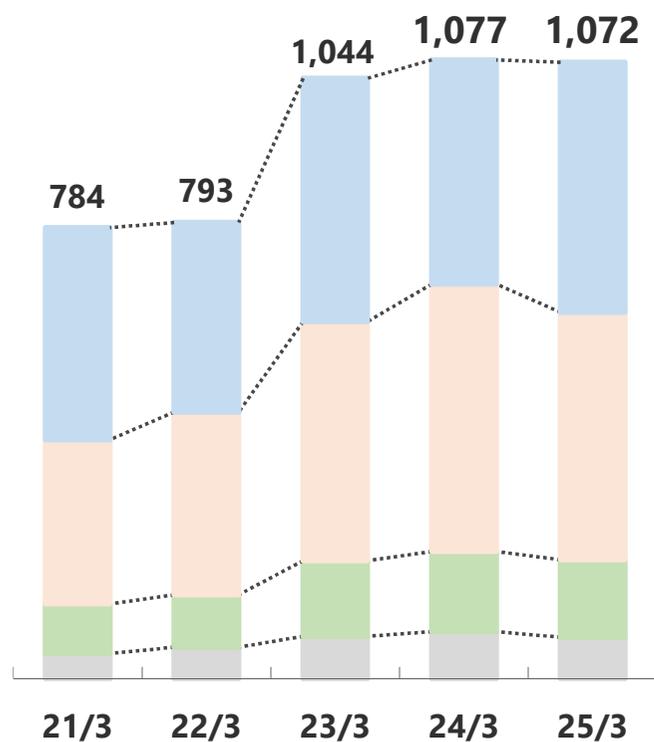
畜産品や農産品の販売量の減少や、一部商品の販売価格下落を受け、減収
一方、在庫回転率の向上によるコストの適正化に努め、増益

	2024年3月期	2025年3月期	増減	
				(億円)
売上高	1,077	1,072	▲4	▲0.4%
営業利益	23	25	+2	+8.0%
営業利益率	2.1%	2.3%	+0.2pt	-



品目別売上高の推移（食品関連事業）

水産品の販売量は増加したものの、畜産品、農産品の販売量は減少し、
販売価格も一部下落したことから、全体の売上高は前期比▲4億円



	(億円)			増減要因
	25/3期	増減	増減	
水産品	434	+45	+11.6%	数量要因+6.5%、価格要因+5.1%
畜産品	429	▲35	▲7.6%	数量要因▲5.7%、価格要因▲1.9%
農産品	135	▲4	▲3.0%	数量要因▲6.4%、価格要因+3.4%
その他	72	▲10	▲12.2%	-

○ 営業利益の増減

貴金属関連事業



食品関連事業



26/3期は、電子デバイス分野の生産状況の改善を背景に、増収増益を予想

(億円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減	
売上高	4,688	4,900	+211	+4.5%
営業利益	126	135	+8	+6.5%
営業利益率	2.7%	2.8%	+0.1pt	-
経常利益	135	143	+7	+5.7%
当期純利益	94	100	+5	+5.7%
1株当たり当期純利益 (円)	364.8	385.8	+20.9	+5.7%

セグメント別の業績見通し

貴金属関連事業は、電子デバイス分野の生産回復見通しから、取扱数量の増加による増収増益を予想
食品関連事業は、販売数量増加による増収も、販管費の増加等により、営業利益は凡そ横這いを予想

(億円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減		
売上高	貴金属関連事業	3,616	3,700	+83	+2.3%
	食品関連事業	1,072	1,200	+128	+12.0%
	合計	4,688	4,900	+211	+4.5%
営業利益	貴金属関連事業	101	110	+8	+8.1%
	食品関連事業	25	25	+0	+0.1%
	合計	126	135	+8	+6.5%

業績予想の前提

	貴金属関連事業	食品関連事業
26年3月期 業績予想	売上高 3,700億円（前期比 +84億円） 営業利益 110億円（前期比 +9億円）	売上高 1,200億円（前期比 +129億円） 営業利益 25億円（前期比 +0億円）
外部環境と数量	電子デバイス分野の生産状況は、半導体・電子部品の需要改善に伴って下期から回復する見立て ➡ 貴金属リサイクル取扱量、製商品販売数量の増加	個人消費の停滞感から、食品需要の拡大は期待できず、顧客ニーズの多様化はさらに進む ➡ 水産品、農産品を中心に販売数量は増加
販売価格	貴金属相場：25年3月期下期の平均並みを想定	25年3月期下期の平均価格程度を想定
設備投資に伴う償却費 IT投資	生産インフラの拡充と強化、ERP刷新、DXの推進とトレンド技術（RPA、BI etc.）の導入、情報セキュリティ対策	
サステナビリティ経営の推進	脱炭素に向けた取り組み、国際イニシアチブ（CDP、TCFD、TNFD etc.）への対応、労働環境の整備、人的資本経営の推進	

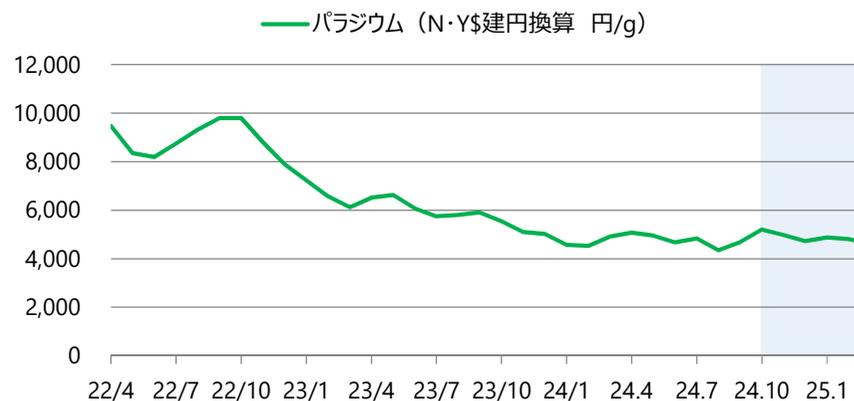
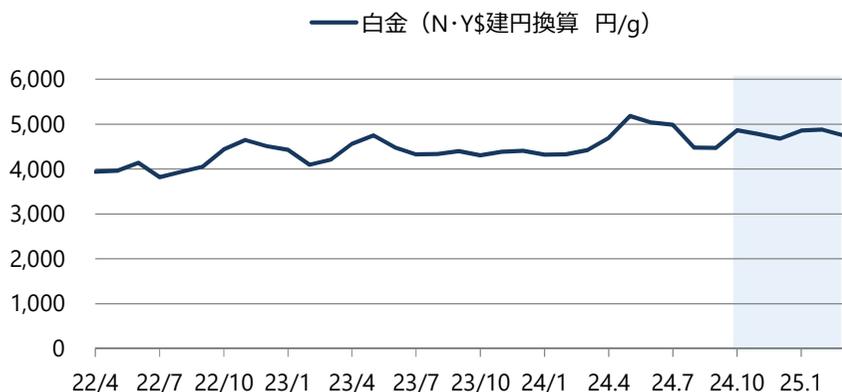
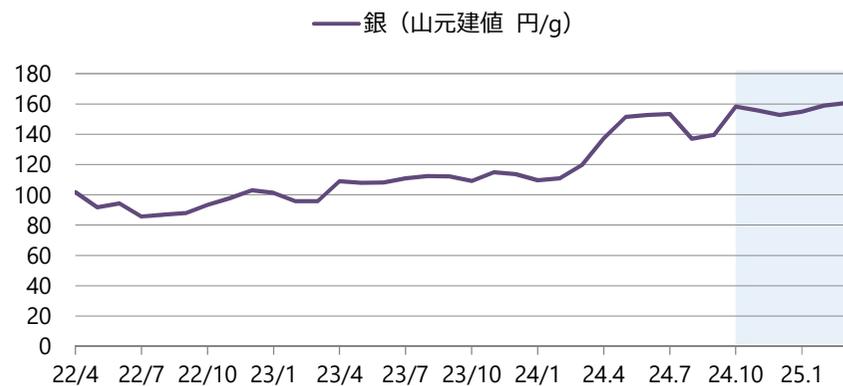
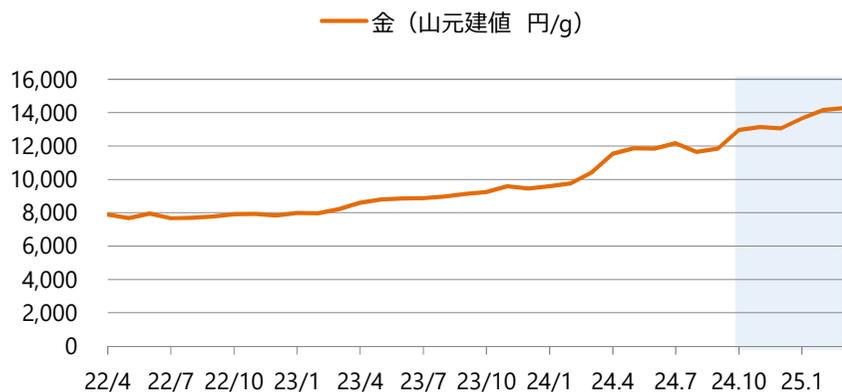
Appendix



(億円)

	2025年3月期 実績			2026年3月期 予想			増減				
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期		下期		
売上高	貴金属関連事業	1,688	1,927	3,616	1,800	1,900	3,700	+112	+6.6%	▲27	▲1.4%
	食品関連事業	532	539	1,071	600	600	1,200	+68	+12.6%	+61	+11.3%
	合計	2,221	2,466	4,688	2,400	2,500	4,900	+179	+4.5%	+34	+1.3%
営業利益	貴金属関連事業	49	52	101	49	61	110	▲0	▲0.7%	+9	+16.3%
	食品関連事業	13	12	25	12	13	25	▲1	▲10.7%	+1	+12.7%
	合計	62	63	126	61	74	135	▲1	▲2.8%	+11	+15.7%

2026年3月期は、金 13,540円/g、銀 157円/gを想定



株式の取得（子会社化）



株式会社 フラップリソース

最近3年間の経営成績及び財政状態

決算期	2022年7月期	2023年7月期	2024年7月期
売上高	1,379百万円	1,566百万円	1,623百万円
営業利益	260百万円	289百万円	334百万円
経常利益	254百万円	275百万円	328百万円
当期純利益	△238百万円	320百万円	246百万円
純資産	932百万円	1,252百万円	1,499百万円
総資産	4,154百万円	4,353百万円	4,401百万円

最近3年間の経営成績及び財政状態

決算期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	66百万円	101百万円	103百万円
営業利益	19百万円	43百万円	13百万円
経常利益	19百万円	43百万円	12百万円
当期純利益	13百万円	29百万円	18百万円
純資産	34百万円	64百万円	82百万円
総資産	48百万円	97百万円	144百万円

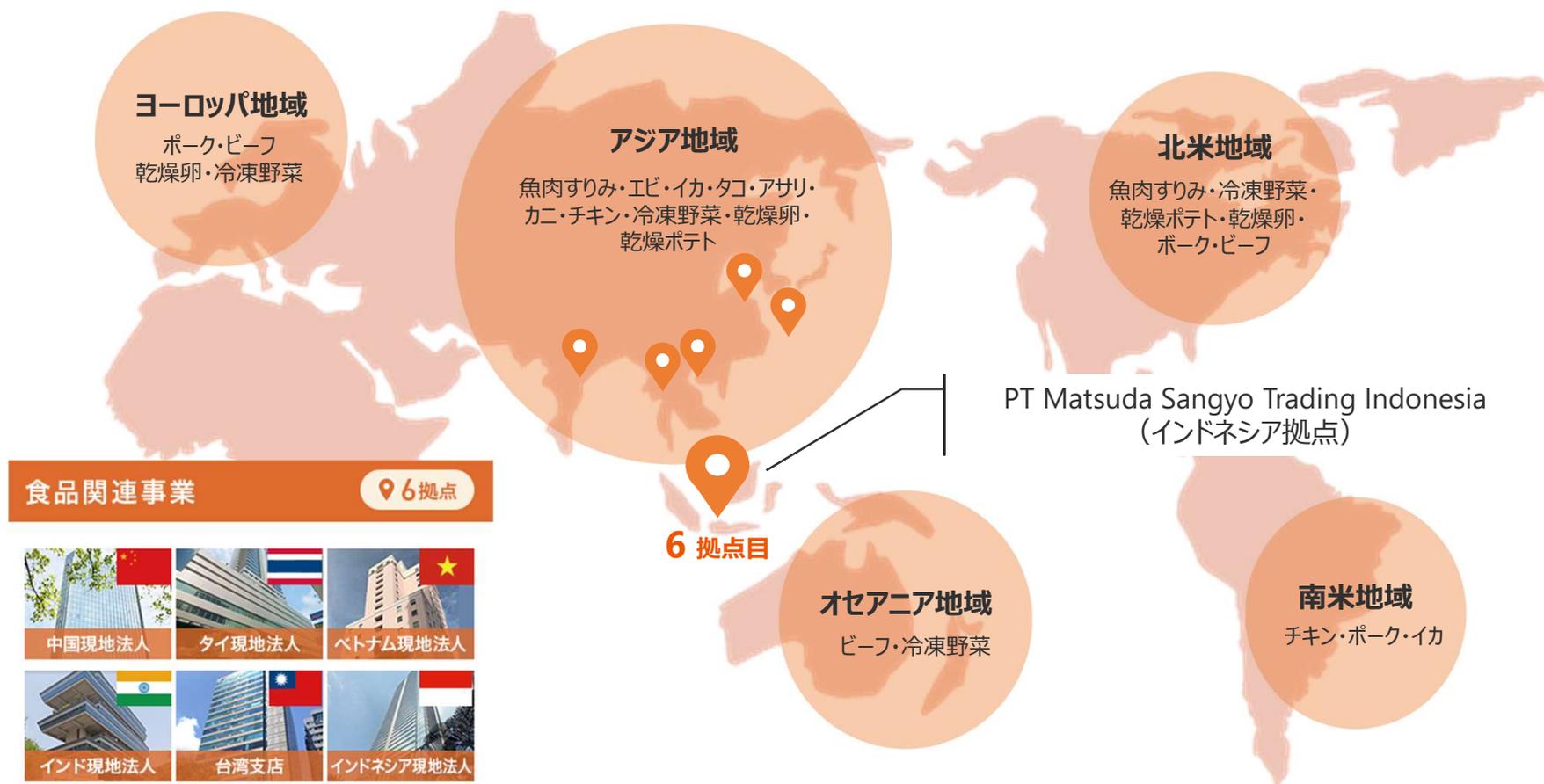
CDP2024「気候変動」調査で最高評価の「Aリスト」に選定



当社グループでは、「環境負荷低減と事業成長の両立」をマテリアリティとして特定し、2050年度のカーボンニュートラル達成に向けて活動を推進しています。具体的には、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の枠組みに基づくシナリオ分析によるリスク・機会の評価、温室効果ガス排出量削減目標の SBT 認定取得、さらに「再生可能エネルギーの導入拡大」、「製造および処理プロセスの見直しと改善」、「サプライチェーンとのエンゲージメント」を通じた温室効果ガス排出量削減に取り組んでいます。今後もこれらの取り組みを通じて、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

グローバル展開と調達ネットワークの拡充

グローバルなネットワークにより変化する業界のニーズに対応した食材を調達





松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.